

4 交通事業会計

〔概要〕

令和7年度は、安定した事業運営・事業継続に向けて、バス運転士養成制度により採用したバス運転士養成員2名の育成に加え、ハローワーク実施の会社説明会への毎月参加や、バス運転未経験者をターゲットにした運転体験会を定期的に開催し、運転士不足の解消に取り組みました。

また、ひとりでも多くの人に路線バスを利用していただくため、新たに特定時期における金曜日の最終便の繰り下げ運行「はな金バス」を実施したほか、高齢者を対象とした「高齢者乗り方教室」を継続し、バスの利用及びICカードの普及促進に取り組みました。

さらに、事故防止対策の強化や災害など緊急時の対応のためのIP無線を導入し、安全性の向上にも取り組みました。

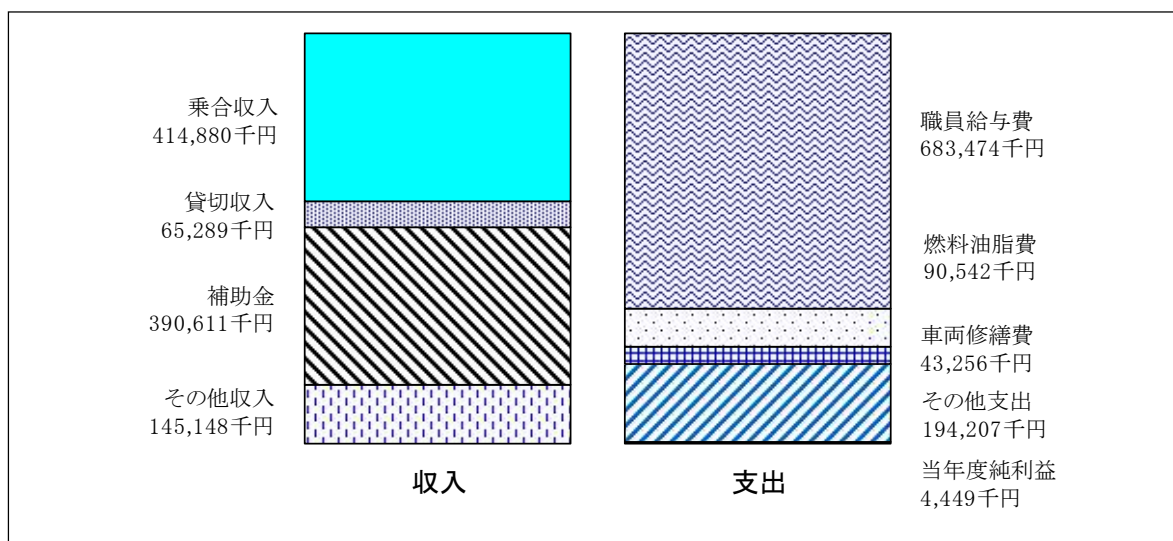
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は17,521台(前年度比102.4%)、走行キロ数は2,616千km(前年度比100.4%)、輸送人員は1,908千人(前年度比106.0%)となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は1,054台(前年度比105.1%)、走行キロ数は102千km(前年度比99.8%)、輸送人員は31千人(前年度比144.7%)となりました。

経営成績については、事業収益は1,015,928千円に、事業費用は1,011,479千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は4,449千円に、また、当年度未処分利益剰余金は112,423千円となりました。

資本的収支については、収入は、国・県補助金等で1,693千円、支出は、路線バス2台の新車購入費用及び企業債償還金等で189,304千円となり、差引不足額187,611千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額6,641千円及び過年度分損益勘定留保資金180,970千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕

